

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育所
事業所名	洛和みずのさと保育園
代表者氏名（管理者）	園長 児玉 結美
法人名	社会福祉法人 洛和福祉会
定員（利用人数）	60名
施設・事業所所在地	滋賀県守山市吉身6丁目4-5
T E L	077（514）2035
F A X	077（514）2036
電子メール	kodama-yumi@rakuwa.or.jp
ホームページアドレス	https://www.rakuwa.or.jp/hoiku/mizunosato.html

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会
評価実施期間	令和6年10月24日・10月25日

3 評価の概要

○ 総合評価

社会福祉法人洛和福祉会『洛和みずのさと保育園』は、守山市の中でも町の中心地に位置しており、守山駅にも隣接していて京阪神への通勤圏内でもあることから、特に京都・大阪へ通勤する若い子育て世代にとっては人気の高い場所です。生活圏内には大きなショッピングモールがあり、有名な小児科医が在籍しているクリニックや病院も近くにあります。また、少し郊外に行けば自然も多く残っており、子育てに適した地域のひとつです。

洛和みずのさと保育園は令和4年に開設されたばかりの新しい保育園です。園舎は新築され綺麗な状態が保たれています。町の中心部にある保育園であることから、敷地の確保という面では少し難しい点もあり、園庭は比較的小規模ですが、近くに子どもたちが体を動かすには十分な広さの公園があります。洛和みずのさと保育園では、「一人ひとりを大切にする保育」を心がけており、子どもたちが安心して過ごせる環境となっています。時に急ぎたい場面でも「待ってあげるから心配しなくていいよ」と見守りながら待つ保育が実践されています。そのことによって保育士と子どもの間で、豊かな人間関係の形成と信頼関係を育んでいます。

○ 特に評価の高い点

1. 『育児担当保育』と『たてわり保育』

洛和みずのさと保育園は、洛和福祉会独自の取り組みの一つである『育児担当保育』と『たてわり保育』を行っています。3歳未満の子どもたちは保育士が個別に担当を持ち、生活面・社会面での発達段階に合わせた保育が少人数体制で行われています。また、幼児クラスの子どもたちは、3歳から5歳の子どもが異年齢でのクラスを構成しています。

核家族化が進み家庭でも一人や二人の兄弟が多く、異年齢で生活することが少なくなってきた中で、幼い頃から違う年齢の人と接する機会を長く持つことが出来ることで、年長の子どもたちは年下の子どもたちの面倒をよく見ます。年少の子どもたちはお兄さんお姉さんのする仕草を真似ながら沢山成長しています。一例を挙げると、給食の際、最年長の子どもたちは背もたれのない椅子に座って食べるので、姿勢が崩れることはありません。そうした姿を年少の子どもたちが見ることで、自分たちも良い姿勢でご飯を食べようとする学びを得ることが出来ています。

2. 保護者の負担軽減を考慮した取り組み

お昼寝の時間に子どもたちは、お布団ではなくメッシュ構造になった簡易式のベッドで体を休めています。この取り組みにより保護者は重い布団を週末に持ち帰り、月曜日にまた持ってくるという負担を軽減することが出来ます。洛和みずのさと保育園の保護者は、自転車で子どもたちを送り迎えする人が多いという特徴もあり、布団を自転車で運ぶのは一苦勞です。そうした地域の実情に対応した画期的な取り組みの一つと言えます。

○ 改善を求められる点

1. マニュアル関係の改定・更新について

洛和みずのさと保育園では、業務マニュアル類は一定揃っている点は評価できます。しかし、その内容や情報が更新されていないものが多いため改善が求められます。今後はマニュアル類の情報を更新され、誰が見ても読みやすいマニュアルへの改編が必要です。更に、いくつか作成されていないマニュアルがあるため、それらの整備や見直しをお勧めします。

特に防災関係のマニュアルの内容は、もう少し地域の災害情報を加味した具体的な内容への刷新が求められます。子どもたちの生命を守ることを第一優先に、改善に取り組まれるよう期待します。

2. 職員の経験知の伝え方について

一般的に見てもベテランと言われる保育士の頭の中に「経験・知識」として蓄積されたものを、後進に伝える際は口頭伝承と云った従来の伝え方になりがちです。その「経験・知識」は非常に大切な財産であり、今後は各自の頭の中にある経験・知識を、「見える化」していくことで、より質の高い保育に繋がっていくと思われます。誰が見ても分かり易くするには、根拠となる資料を作成することが大事です。パソコン内の記録で良いので、保育士の経験記録を日々蓄積し整理していくことで、よりベテラン保育士の「経験知」が活かされていくと考えます。

3. 子どもたちのプライバシー保護について

子どもたちがお昼寝のために着替える際は、衝立が準備されていて男女別々に着替える等、低年齢であったとしても性差に対する意識付けを行い、プライバシーに配慮した保育が行われている点は評価できます。しかし、トイレに関しては、男の子が用を足す際に排泄の様子が外からも、子ども同士でも丸見えであり、プライバシーに配慮が必要ではないかと懸念されます。身体は小さくても一人ひとりが羞恥心のある個人であるという配慮が必要です。設備面での改修は大変ですが、少なくとも外から見られない工夫（子どもがお互いに排泄行為を見られないことがない環境の整備【間仕切りボードやカーテンなど】）を整えることで、より子どものプライバシー保護に配慮が行き届いた保育園になると思われます。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

開園3年目で、まだまだ試行錯誤の中、マニュアルや保育環境など、職員と一緒に見直し確認をする良い機会になりました。また、調査の先生方には2日間、取り組み方法や質問もさせてもらい、親身になっているような視点から具体的な助言をたくさんいただき、大変勉強になりました。

今回の評価で、明確になった課題点や改善点に対して、丁寧に対応していき、更により良い保育の質の向上に努めながら、保護者や地域の方に求められる保育園となれるよう、今後も努力していきたいと思います。

また、保護者の皆様のアンケート結果を踏まえ、今後も様々な意見に耳を傾けながらも、園の方針を十分に理解していただき、子どもを真ん中に、保護者の皆さまと保育園が力を合わせて園運営を行っていただけるようにして参ります。